

新しい公共支援事業の成果等報告  
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

## 1. 成果等報告

モデル事業名	日本一のバリアフリー観光県づくり																
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)																
事業実施主体名	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター																
実施期間	平成23年10月1日～平成25年3月31日																
支援額 (注釈参照)	<p>※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。</p> <p>3,102,400円</p> <table> <tr> <td>人件費(諸手当含む)</td> <td>926,892円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>395,100円</td> </tr> <tr> <td>日当交通費</td> <td>78,950円</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>81,535円</td> </tr> <tr> <td>資料作成費</td> <td>770,000円</td> </tr> <tr> <td>製本印刷費</td> <td>660,000円</td> </tr> <tr> <td>アンケート経費</td> <td>183,500円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,423円</td> </tr> </table>	人件費(諸手当含む)	926,892円	旅費	395,100円	日当交通費	78,950円	会場費	81,535円	資料作成費	770,000円	製本印刷費	660,000円	アンケート経費	183,500円	その他	6,423円
人件費(諸手当含む)	926,892円																
旅費	395,100円																
日当交通費	78,950円																
会場費	81,535円																
資料作成費	770,000円																
製本印刷費	660,000円																
アンケート経費	183,500円																
その他	6,423円																
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	<p>各地の観光協会、事業者(宿泊観光施設等)等と連携してバリアフリー観光勉強会の開催。</p> <p>三重県健康福祉総務室UDグループとの連携(UDアドバイザーの活用等)</p>																
事業概要	<p>本事業の目的は、三重県を日本一のバリアフリー観光県とすることによる、県内観光各地の集客振興と、三重県のノーマライゼーション化の社会的実現である。</p> <p>伊勢志摩でのバリアフリー観光推進の実績と、全国のバリアフリー観光地が採用する「パーソナルバリアフリー基準」の開発および指導者としての実績をもって、三重県全域の観光施設および宿泊施設を対象に、調査、アドバイスするとともに、障がいのある旅行者からの相談を全県カバーして受け、トラブル無く紹介斡旋する。また、その過程と達成により、地域社会のノーマライゼーション化を実現する。</p>																
事業内容	<p>三重県内の観光地にバリアフリー観光推進の有利性を説明</p> <p>①伊賀上野地区 ②松阪地区 ③榊原温泉 ④津カントリークラブ ⑤東紀州地区 ⑥志摩地区</p> <p>観光事業者や専門員として活動してくれる市民を集めての研修会(実施名称:勉強会)開催</p> <p>12月8日 伊賀地区</p> <p>12月9日 松阪地区</p> <p>12月～1月 榊原温泉地域、津カントリー倶楽部での事業者個別対応</p> <p>1月30日 東紀州地区</p> <p>2月20日 志摩地区</p>																

	<p>上記の研修会(実施名称:勉強会)を経て専門員として活動してくれる方たちを含めた専門員育成(実施名称:研修会)開催</p> <p>3月6日 伊賀地区(ヒルホテルサンピア伊賀 調査)</p> <p>3月27日 松阪地区(松阪フレックスホテル 調査)</p> <p>12月の最初の研修会(実施名称:勉強会)の前に、健康福祉部 健康福祉総務室(ユニバーサルデザイングループ)が育成してきたUDアドバイザー約1000人にむけて、「日本一のバリアフリー観光県づくり」事業の説明と、研修会(実施名称:勉強会)の案内のDMを発送。</p> <p>そのため、各地における研修会(実施名称:勉強会)には、UDアドバイザーの方々が多く出席。</p> <p>また、研修会(実施名称:勉強会)時にアンケートを行ったときに専門員として活動したいか?という問いにほとんどの方が希望し、また次回の専門員育成(実施名称:研修会)にかなりの率で出席していただくこととなり、UDアドバイザーの活動意識が高いことを再認識した。</p>
<p>得られた成果及び自己評価</p>	<p>事業計画にそってほぼ計画通りに進行しており、数値目標としては達していない部分もあるものの、次年度に達成できる予定である。</p> <p>対象としたそれぞれの地域では、バリアフリー観光に関する感心が急速に高まっており、三重県全体でこのような動きになるのは、今後の観光振興において非常に有利であると肌で感じている。</p> <p>また、伊勢神宮の式年遷宮と結びつけて観光振興を行いたいと考えている地域がほとんどで、「三重県バリアフリー観光センター」よりも「伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」のエリアとして扱って欲しいという声もある。</p> <p>当NPOと各地の観光行政および三重県UD室との協働は概ね実現しているが、三重県観光関係との協働が薄く、当方および県側からも、この協働関係を強化しなくてはならないと思われる。</p>
<p>評価 ラン ク</p>	<p><input type="checkbox"/>S:特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>A:優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>B:一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C:限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D:成果が得られなかった (該当する評価に『』を付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

## 2. 添付書類

その他参考となる書類 ※ 都道府県において適宜設定すること。